

行 政 報 告

第４回町議会定例会の開催にあたり、日頃からの町政運営に対する議員各位のご協力に対し、心から感謝とお礼を申し上げます。

地方財政は引き続き厳しい状況であります。計画した各種施策や事業等は、みなさんのご理解とご協力のもと、順調に進めさせていただいております。引き続き、本年度の残された行政課題の解決に努めてまいりますので、一層のご高配を賜りますようお願い申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

はじめに、防災対策について申し上げます。

本年度の防災訓練は、10月５日に町内全域を対象とした全町一斉津波避難訓練を実施いたしました。訓練には1,095名の方々が参加され、避難経路や避難に要した時間の確認を行うとともに、アンケート調査にご協力をいただきました。

11月１日には高砂地区を対象とした土砂災害避難訓練を実施しております。訓練では福祉センターへの避難に続き、函館建設管理部職員による土砂災害に関する講話があり、町民19名の方々の参加をいただきました。

また、12月１日には株式会社セブンイレブン・ジャパンと、地域見守り活動や災害時の物資供給などを目的とした協定を締結しております。

今後とも、住民の安全・安心を守るためのまちづくりを進めてまいります。

次に、アスベスト対策について申し上げます。

アスベストを含む煙突用断熱材については、損傷や劣化による粉じん飛散のおそれがあることから、本町の所有する全施設について図面による調査を実施したところ、12施設での使用を確認しております。

現段階では、煙突素材の崩落等は見受けられませんが、これらの施設で使用する断熱材の検査や、空気中における粉じんの濃度測定を行うための費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、東京理科大学関係について申し上げます。

去る10月30日に開催された全国から同窓生が集う「東京理科大学ホームカミングデー2016・イン・葛飾」では、ふるさと納税のパンフレット配布のほか、ホタテのバター焼きとホタテ入り焼きそばの提供など、長万部町のPR活動を実施いたしました。肌寒い天気の中ではありましたが、いずれも完売となる人気となりました。

また、理科大との連携によるアグリビジネス事業につきましては、理科大隣接地でのレタスなどの本格的栽培の前段として、事業展開後の経営の安定化を図るため、ヒートポンプなどの再生可能エネルギーによる熱源や収益の確立を優先する段階となっております。

これらの第一歩として、本町が理科大へ供給している温泉送水管が、湯あかの付着などにより、湯量の減少や湯温の低下を招いていることから、改善のための調査・研究として、新たに高断熱・高性能温泉送水管の敷設を12月24日を工期に施工中であります。

引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

平成24年6月に認可された新函館北斗・札幌間の工事実施計画では、長万部駅周辺の大部分で地上を走行することから、市街地を分断する構造となっております。

このため、北海道新幹線の建設主体である独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）では、市街地への影響を極力小さくするよう、長万部駅周辺の高架化に向けた検討が進められており、その一環として、今年度、高架化に伴う環境への影響についての調査が行われ、その調査結果となる環境影響評価書は、12月1日から28日まで、

役場などで縦覧されております。

本町といたしましても、まちづくりを進める上で高架化は必要と考えており、今後とも関係機関への働きかけを行ってまいりたいと考えております。

また、本年7月に設置した長万部まちづくり推進会議においては、将来の物産販売機能の向上を目指し、総合文化祭において漬物やホッキ飯を試食していただく「おしゃまんべマルシェ」を開催したほか、町内の隠れた観光資源を発掘して磨き上げていく仕組みづくりを学ぶため、黒松内町においてモニターツアーを実施するなど、14年後の長万部駅開業を見据え、様々な活動を積極的に展開しております。

本町では、今年度、広域の玄関口としての機能強化、中心市街地の再生といった取組を進めていく上での方策となる新幹線駅周辺整備計画を策定する予定であり、今回の活動を参考としながら、より実効性の高い計画となるよう取組を加速させてまいります。

次に、移動町長室について申し上げます。

町政について町民の方々と自由に意見を交換し、より住み良いまちづくりを進めるため、「移動町長室」を10月12日から町内4会場で開催いたしました。

今回の移動町長室には、延べ70人の方々が出席され、台風10号での避難所設置に関する課題や防災訓練での対応など、災害対策全般についてや、自然環境や医療問題、地域交通の改善など広範囲な分野において、多くのご意見・ご要望などをいただきました。

これらの貴重なご意見・ご要望を今後の町政運営に活かしてまいります。

次に、葬斎場改築計画について申し上げます。

本町の葬斎場は、昭和52年度から供用を開始して約40年となりますが、

火葬炉等は経年劣化により維持管理費や補修費用が増嵩し、施設全体も老朽化している状況であります。

こうしたことから、本年度、火葬炉の更新に伴う施設増改築を目的とした耐震診断を実施した結果、既存施設の耐震性能に問題がなかったため、改築にあたっては既存施設を最大限利用し、費用の縮減を図ることといたしました。

つきましては、本事業推進に係る実施設計費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

本年度4月から10月までの渡島廃棄物処理広域連合の焼却施設に排出した長万部町の可燃ごみの量は、約1,054トンで、前年度同期と比較し、約14トン減少しております。

また、ごみ減量化の一環として実施しております衣類の無料回収は、長万部町地域女性団体連絡協議会のご協力をいただき、5月・7月・11月に実施し、345kgの衣類を回収いたしました。次回は、来年2月を予定しております。

廃食用油は、本年度も役場・福祉センター・各会館のごみステーションに回収ボックスを設置して、現在までに612リットルを回収しており、使用済小型家電についても、無料回収ボックスを役場庁舎内に設置し、123kgを回収しております。

町民のみなさんには、今後ともごみの減量化やリサイクルへのご協力をお願いいたします。

次に、臨時福祉給付金について申し上げます。

本年10月から、住民税非課税者を対象とした簡素な臨時福祉給付金と、低所得者の障害・遺族基礎年金受給者向け給付金の申請受付を開始し、11月末で延べ547人への支給を完了しております。

来年3月からは、引き続き消費税増加分の影響緩和のため、住民税非

課税者を対象とした「経済対策臨時福祉給付金」の申請を開始する予定となっており、給付対象と思われる方には申請書を送付するとともに、町広報で広く町民のみなさんへ周知し、適切に事業を進めてまいります。

なお、関連する費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、町民の健康増進について申し上げます。

本年度取り組んでおります歯科保健対策は、9月に町内の幼稚園と2箇所の保育所で歯磨き教室を実施いたしました。

教室では、4～5歳児63名を対象に歯磨きの大切さや正しい歯磨きの方法について話をし、歯ブラシと歯磨きカレンダーを配布いたしました。

今後も幼稚園、保育所などと連携し、歯科保健対策を推進してまいります。

次に、インフルエンザ等の予防について申し上げます。

高齢者インフルエンザ予防接種は、12月1日までに815人から申請がありました。

インフルエンザ流行の兆しがあることから、うがいや手洗い、手指消毒、外出時のマスク着用等の励行を促し、予防の徹底を図ってまいります。このほか、ノロウイルスやロタウイルスによる感染症にも備え、うがいや手洗い等の励行を勧めてまいります。

次に、高齢者福祉関係について申し上げます。

地域敬老会は、8月29日を皮切りに27地域24会場で実施され、対象者1,298人に対し614人の出席をいただき、出席率は約47.3%となりました。

各会場とも、町内会等のみなさんによる特色ある料理の提供や、趣向を凝らした催しなどにより、出席された方々から大変喜ばれておりました。

町内会等のみなさんには、ご苦勞をおかけしますが、高齢者の集まる場の一つとして継続されることをお願いいたします。

また、昨年から長寿のお祝いと社会貢献へのお礼をこめて、9月12日から14日までと16日から19日までの計7日間、老人福祉センターを無料開放したところ、388人が利用されました。

11月24日には、ファミリースポーツセンターにおいて、日頃の運動不足解消と会員の協調、親睦の輪を広げることを目的に、老人クラブ運動会が、12クラブ113人の参加により開催されました。

次に、冬期福祉給付金(福祉灯油)について申し上げます。

本格的な冬に向かい、電気料金の高止まりもあることから、高齢者や障がい者などで低所得の状況にある方に灯油購入費等の一部を助成し、冬期間の増嵩経費に対する経済支援として、前年度と同様に冬期福祉給付金事業を実施するため、本定例会に補正予算を提案いたしております。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物の牧草やサイレージ用トウモロコシは、10月15日の調査では、牧草は平年並の収量となっておりますが、サイレージ用トウモロコシは天候が不安定で作業がやや遅れ気味となっております。

生乳生産量は、4月から10月まで約6,123トンを出荷し、前年に比べ約55トンの減となり、乳代は約5億4,376万円で、前年に比べ約80万円の減となっております。

黒毛和牛の4月から10月までの販売頭数は154頭、販売金額は1億2千8万円で、前年同期と比較して、販売頭数は同数であります。市場価格が高値で安定していることもあり、販売金額では2,581万4千円の増となりました。

牧野関係は、生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場運営事業を実施しておりますが、10月27日に下牧が完了しております。

この間の入牧延べ頭数は56,778頭で、前年に比べ14,914頭の減となりました。

新規就農者対策としては、11月12日に東京都、11月26日に札幌市で開催されました「新・農業人フェア」に長万部町のブースを出展し、長万部町のPRや就農への情報発信を実施しております。

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業では、森林環境保全整備事業で実施した静狩地区の地拵・植栽事業3ヘクタールは、10月17日に完了しております。

次に、漁業関係について申し上げます。

本町のホタテ貝養殖漁業での11月末現在の種苗生育状況は、へい死・変形等が少なく、比較的良好に推移しておりますが、昨年は冬から春の耳吊り時期にかけて変形・欠殻等が発生しており、また、本年度は成貝の弊死率が高く、最盛期を迎える時期に水揚量の減少が懸念されておりますので、引き続き、渡島北部地区水産技術普及指導所等各関係機関と連携し、調査を行う予定となっております。

本年の秋鮭漁は、11月20日現在、漁獲量は約480トンで、前年に比べ約69トンの減となっておりますが、漁獲金額は約2億3,468万円で、前年に比べ約753万円の増収となっております。

次に、商工観光関係について申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、中小企業の健全育成と経営安定のため、様々な国や道の金融支援に対し、関係機関と連携し、町としての認定等の窓口の設置を行っており

ます。

本年度上期の観光客入り込み数は、3月26日の北海道新幹線開業に伴い、5月の大型連休より本州からの観光客を中心に順調に増加しており、9月末までは前年度を上回る状況で、上期全体としては、前年度に比べ1.2パーセント増加して、約31万5千人となっております。

また、観光客誘致事業として、札幌市で開催されましたサッポロビアガーデンふるさとPRステージやオータムフェスト2016に参加したほか、東京都葛飾区で10月21日から23日に開催された第32回葛飾区産業フェアへ昨年に引き続き出展し、長万部町の観光PR並びに特産品の販売を行いました。

これらのイベントには、町のキャラクター「まんべくん」も参加し、誘客効果を高めました。

次に、労政関係について申し上げます。

本年度も季節労働者の労働環境向上のため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会を中心として、雇用相談や求人情報の提供、技能研修などを通して、通年雇用に向けた支援を行っております。

次に、消費者相談関係について申し上げます。

近年、悪質商法や還付金詐欺、送り込み詐欺など次々と新しい手口による消費者問題が多く発生しており、啓発活動が欠かせない状況となっていることから、消費者の安全確保についての苦情相談など、住民に対して必要な情報収集や提供を行うため「消費生活相談員」を配置しております。

今後、ますます巧妙化する手口への対応が必要とされる中、町広報を中心に消費者の安全確保に関する情報周知を継続して行い、住民の消費者生活被害予防に努めてまいります。

次に、建設事業について申し上げます。

建築事業では、とみの森遊歩道安全柵設置工事は工期内の9月11日に、静狩振興会館外壁外修繕工事につきましても工期内の11月29日に完成しております。

その他、公共施設や町営住宅の修繕工事は、計画的に実施しております。

土木事業では、町道中山大通線外舗装補修工事、町道静狩中央線外舗装補修工事及び橋梁長寿命化修繕事業の一環として実施した長万部中央跨線橋海側階段修繕工事につきましても、工期内に完成しております。

また、第3回臨時会において補正予算の議決をいただいた、JR敷地内排水路整備工事につきましては、12月下旬までの工期で施工中であります。

第6回臨時会において補正予算の議決をいただいた長万部中央跨線橋応急修繕工事及び長万部中央跨線橋橋梁緊急点検業務委託につきましても、3月下旬までの工期で発注済みであります。

また、冬期雇用安定対策事業として実施する、富野川1号支川床下げ業務の委託料について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

除雪関係では、協同組合長万部町建設協会と11月15日に委託契約を締結し、町道や公共施設等の除雪作業を実施してまいります。

第2回定例会において議決をいただきましたロータリ除雪車は、11月30日に納入されております。

公園事業では、今年度の長万部公園キャンプ場の利用は、10月31日で終了いたしました。キャンプ場利用者は2,732人で、昨年度に比べ17.0%の増となっております。バンガロー利用棟数は277棟で、昨年度に比べ13.1%の増となっております。

また、あやめ公園パークゴルフ場の利用は11月6日で終了いたしました。パークゴルフ場利用者は6,025人で、昨年度に比べ15.5%の減となっております。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

終末処理場長寿命化計画に基づく更新工事の管理棟ドア及び仮壁交換工事は、2月28日の工期で施工中であります。

次に、ガス事業について申し上げます。

ガス本支管改良工事の中山大通線工区、本通線・大町3号線工区、本町5号線工区は、11月30日に完了しております。

次に、水道事業について申し上げます。

長万部浄水場1号ろ過機ろ材交換工事は、9月30日に完了しております。

次に、シャクシャイン古戦場跡碑について申し上げます。

7月から旧国縫小学校グラウンド内で工事を進めてまいりました、シャクシャイン古戦場跡碑は9月下旬に竣工し、永年の念願がかなうこととなりました。

10月28日には、北海道アイヌ協会理事長をはじめ、長万部アイヌ協会、国縫自治会役員など50人ほどが出席して除幕式を行ったところであります。

今後は町民のみなさんにも歴史を刻んだ激戦の跡を訪れ、祈りの手をあわせていただければと思っております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年11月末日現在の火災発生件数は4件、救急件数は238件で、う

ち、ドクターヘリでの搬送は5件となっております。

火災予防の事業では、秋の全道火災予防運動期間中に、病院や福祉施設、ホテルや旅館、大型店舗など、不特定多数の人が出入りする施設の防火査察、女性消防団員による街頭啓発や防火訪問を実施いたしました。

救急関係の事業では、インターンシップの受け入れをした長万部高校の生徒に対し普通救命講習を実施したほか、AEDの取り扱いなど一般救命講習を実施し、学校や施設職員、理科大生など74名が受講されました。

消防団の事業については、10月5日の全町一斉津波避難訓練に76名の消防団員が参加し、避難誘導や救護支援などを実施いたしました。

また、コミュニティ助成事業を活用した消防団安全装備品整備事業として、救命ボート2艇、救命胴衣50着、流水対策用胴付6足を各分団に配備し、長万部分団が長万部川において救命ボートの操作訓練を実施いたしました。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定、条例の一部改正、各会計補正予算など、合わせて17件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。